

柔軟な構成を実現できる OSSベースのCMS



タイムインターメディア

取材協力：株式会社タイムインターメディア

CMSのニーズ

CMSの存在が認知されるにつれ、CMSの市場が変化しています。ここ数年では、とくに大手企業やIT企業でのCMS導入→Webサイト運用が浸透しました。しかし、中小企業や非IT企業でのCMS導入は、ようやくスタートしてきたところです。

中小企業の多くは、自社サイトの専属管理者の配置が難しい一方で、大企業以上にサイトの検索エンジンへの対策や効率的なサイト・コンテンツ管理が求められます。

こうしたニーズを捉えるべくリリースされたのが株式会社タイムインターメディアの「幕の内」です。「幕の内」は、“Simple” “Useful” “Flexible” のコンセプトのもと、効率的に情報発信し、効率的なサイト運用を実現したい管理者をターゲットにしています」と、同社Webインテグレーション事業部プロダクト総合営業部の太田茂幸氏はコメントしています。

ここがお勧め、幕の内の機能

では、幕の内の機能を紹介しながら、お勧めのポイント、利用想定シ

ンなどを紹介します。

●新機能「時限公開」機能

2007年1月31日にリリースされた最新の「幕の内」Basic版1.1.0には、新機能として「時限公開」機能が実装されました(図1)。

同機能は、作成したコンテンツをいつ公開または非公開にするかの時刻を設定して、自動的にコンテンツの公開/非公開を行うものです。ニュース配信やキャンペーンといった用途で活用できます。

●操作性が高いコンテンツ管理

幕の内の大きな特徴の1つとして、コンテンツ管理の操作性の高さが挙げられます。

まず、制作面では、WYSIWYGによるコンテンツ作成やDreamweaverと連携したデザイン、コンテンツ版管理、コンテンツ承認履歴管理などを実装しています。

WYSIWYGエディタにより、専門的な知識がなくてもコンテンツ作成ができるだけでなく、Dreamweaverのような専門ツールと連携できるので、よりクオリティの高いサイトデザインまでを実現できます。

加えて、ワークフロー管理機能が充実しており(後述)、デザインや承認といった作業を部門ごとに切り分けられるので、サイト制作/運用をユーザーのニーズに合わせて設定できます。

図2 ワークフロー申請の承認画面



図3 ワークフロー設定画面



●柔軟なワークフロー管理

運用面を見ると、柔軟なワークフロー管理が特徴と言えます。ユーザやグループ毎に、コンテンツの作成から公開までのワークフローを、システム内で設定できます(図2・3)。

Sierだからこそできる “トータル”CMSシステム

続いて、タイムインターメディアとして提供するCMSの強みについて迫ります。

●OSSベースの強みを最大限に活用

OSSベースであること、これは幕の内の魅力でもあり、同社が提供するシステムとしてのCMSの強みだからです。同社は今まで豊富なOSS開発実績をもって、幕の内にもその経験を活かされ、タイムインターメディアだからこそできる機能実装/拡張を行ったパッケージに仕上がっているのです。パッケージのみでも十分効果的なサイト制作運用を実現できます。

さらに、幕の内の提供モデルはパッケージだけの提供ではなく、SIや保守

などを含めた販売となります。そのため、ただCMS環境が提供されるだけではなく、ユーザのニーズに合ったCMSとして提供されます。同社Webインテグレーション事業部オープンプロダクト開発部の清水川貴之氏は「私たちは、パッケージとしてだけでも十分な効果を発揮する製品を展開しています。加えて、豊富なSI実績がありますので、こういった構成で、どのような運用/保守を目指しているか、ユーザの皆さまからのニーズに合わせた形でシステム提供ができます」と述べています。

●KABAYAKIとの連携

上記を補足するものとして、現在同社が提供している検索システム「KABAYAKI」との連携もシームレスに行えます。とくに社内システムなどでCMSを導入する場合、ユーザビリティの高い検索システムが求められます。

幕の内は、KABAYAKIと連携した「高機能検索付きCMS」として活用することができます。

幕の内による 導入事例・実績

幕の内の導入事例として、ECサイト(販売商品管理部分)や出版会社のサイト内コンテンツ管理、また、社内での素材管理などがあります。こうした事例からもわかるように、幕の内は、扱うコンテンツが複雑だったり、専門的な業種に適したCMSです。もちろん、扱うコンテンツが複雑ではないサイトに対しても適しています。

太田氏によれば「今後も、“Simple” “Useful” “Flexible” のコンセプトのもと、幕の内を開発していきます。幕の内の魅力は、さまざまな利用シーンに柔軟に対応できるCMSだという点です。また、ご要望に応じて私たちの一番の強みであるSIを活かしたご提案もできますので、CMSの導入を検討している方は、ぜひお気軽に私どもにご相談下さい」とのことです。

CMS製品 幕の内
問合せ先 株式会社タイムインターメディア
U R L http://makunouchi.jp/
M A I L info@makunouchi.jp
T E L 03-5362-9009

図1 WYSIWYGエディタ&時限公開画面

